

研究課題名	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に脳卒中を発症した患者の臨床的特徴を明らかにする研究 -今後拡大が予測される COVID-19 への対策の模索-
研究の意義・目的	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症（COVID-19）の拡大は、勢いを増し、国民の健康、経済、医療に甚大な影響を与えています。我が国の未曾有の国難と言っても過言ではないとも言えます。COVID-19 の重症患者は、高齢、男性、高血圧、糖尿病、腎機能障害、心臓病を有することがリスクだと言われていますが、脳卒中と COVID-19 の関連は限られた報告しかないのが現状です。COVID-19 陽性例の脳卒中患者の臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2021 年 5 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2020年1月～2021年5月に大阪市立大学医学部附属病院で、新型コロナウイルス感染症の治療のための入院中に脳卒中を発症した患者さん、あるいは脳卒中を発症し入院後に感染が疑われ、SARS-CoV-2 PCR 検査にて陽性と確認された患者さん（院内感染を含む）が対象になります。担当医師により研究参加に不相当と判断された場合は除きます。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT 画像】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関 日本医科大学 脳神経内科に頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	研究代表者：日本医科大学脳神経内科 木村和美 日本医大から我が国の一次脳卒中センター（リストは別紙のとおり）に協力を依頼し、研究を遂行します。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経内科学 研究責任者 伊藤 義彰 代表研究機関の名称・日本医科大学 所属・脳神経内科 研究代表者 木村 和美
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経内科学 （担当者氏名）安部 貴人 電話番号：(06) 6645-3889 メールアドレス：abe.takato@med.osaka-cu.ac.jp